

## ●第31回通常総会開催いたします。 4月29日(火)13時~17時 中央公民館

ようやく開催の諸準備としての資料が整えられました。残るは会計監査を残すところまで到達出来ました。各社員の皆さま方にはご心配をいただきてきましたが、いよいよ結成30周年を目前にした2025年第31回通常総会を迎えられました。いま世界はトランプ大統領によって経済の行方が混とんとなり、我が国ではコメの値上がりや物価高となって大きな変革変化の時期を迎えていきます。そして春の期間は本当に短くなつて夏日が4月に発生するなどこれまでの常識が覆っていく気候変化です。この夏はどのような夏になつてゆくのでしょうか心配ですね。今回の総会は役員の任期満了で新体制の確定という課題に対処致さなければならぬので、これまでにない大切な会議になりますので社員各位におかれましては万障繰り合わせの上ご出席をお願いいたします。また会員の皆様におかれましてはオブザーバーとしての参加は大歓迎ですのでご参加いただければ有難いです。

## ●第29回 京田辺市生け花協会展に参加してきました。 4月19日(土) 市役所前コミュニティホール

7時過ぎに新田辺駅前のコーヒー店で休憩していると、見ず知らずのご婦人から案内はがきを頂き、せつかくなのでと思い昼前に出かけました。そこには打田の榎孝二さんがおられて説明をいただきました。市職員を定年になった中村和男さんが市民文化祭に生け花出展者で一堂に取り組んではと呼びかけられて今回で29回目である事や、惜しくも中村さんが亡くなつて5年程経過したが、苦労しながら継続開催をおこなつておられるなどをお聞きしました。それぞれの流派があつて難しいことが予想されます。それを乗り越えての展示会ですので、すばらしいものだと思ひます。力作揃いの展示でしたが、感想として京田辺市の野山に咲いている花を使っての展示会とされ、京田辺市の自然の豊かさを強調していただければ有難いなあと思ひました。

農園部会だより

### ●4月19日(土) 大人6人と中学生2人が参加してくれました。

暑い1日でした。身体が慣れていないので、体調を崩さないか心配です。中学生2人は昆虫観察のために里山農園を縦横無尽に活用し、気になったことがあれば質問することを通して大人と交流するという良い循環がありました。また、1号地・3号地を舞台としてジャガイモの芽かき、草引き、水やり、差し入れされた野菜を植えたり、トラクターのメンテナンスなど情報交換しながら楽しく作業を展開しました。



3号地の手入れ風景（芽かき・草引き）

## ●里山農園の教育棟 屋根の傾き修繕を実施 4月22日(火)

ご利用されている皆さんから雨もりがきついのではとの気付き報告に基づき調べると、固定番線が緩んで30cm程ずれていました。長年の風雪の影響でしょう。ずれていた屋根を引き上げて取付金物(クランプ)を使って固定しました。これで雨の吹き降りに対処できるのではないかと思われます。

## ●里山の会では 次のような作業を無償のボランティア活動を行っています

木津川希少種維持作業	除草作業	200 時間
木津川希少種生育調査	生育調査	148 時間
木津川希少種維持作業	刈草運び出し	176 時間
各種イベント	スタッフ	463 人
竹エンピツ制作	竹割 研磨	45 日
里山農園	野菜栽培	毎週火・土 (5~7 人)
週刊ニュース発行	編集	毎週木曜日 (ホームページ更新)
会誌/[里山の自然発行]	募集と編集、印刷	年間 2 回発行 (4 月・10 月 200 頁)
朝市出店	農園の生産物	第 2・第 4 日曜日

## ●群馬県のある大学からやましろ里山の会の活動について学びたいのでと挨拶の電話が来ました。

ホームページをご覧になってのことだと思います。電話では 5 月の連休中にできれば伺いたいのでということでした。日時が決定いたしましたら週刊ニュースでお知らせいたしますのでご協力をお願ひいたします

## ●会員の山岡治作さんが特許を得られました。

昨年ミツバチとメダカの観察会でミツバチの生態を説明いただいた山岡さんが、「日本ミツバチの人工分割分蜂重箱式巣箱」についての特許を取得されました。日本ミツバチの養蜂家で宇治田原にて養蜂活動を長年行われ、非常に難しいとされている取り組みの中から経験を得られ、技術を確立させ、申請へ到達されたのです。

日本ミツバチはミツバチ箱が気に入らなければ住み着いてくれない性質で、一般に普及しているセイヨウミツバチとは格段に難しいものだそうです。素晴らしい成功だと言えます。おめでとうございます。この技術を生かして養蜂家の苦労を少しでも軽減させてくださることを願います。

山岡さんは昨年入会され、里山の会のパソコン教室に参加し、パソコンの操作を学習されました。そして申請書を自力で書き上げて提出されたのです。今年 79 歳男性です。正に「為せば成る 為さねば成らぬ、何事も、成さぬは人の為さぬなりけり。」の言葉通り頑張りつづけられました。きゅうり農家でもあります、城陽市寺田から宇治田原町の大字南の畑に行き、朝の 2 時ごろから懐中電灯を頭につけて作業されてこられたとお聞きしています。

